

「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」とは、産学行政連携により、大学等の研究シーズを活用したオープンイノベーションにより、県内主要産業が有する課題を解決し、新技術の開発・実用化や新産業の創出を目指すものである。

「プロジェクトDX」における以下の研究テーマ等により、自動運転制御と安全性確保の技術開発に取り組む。

研究テーマ	自動運転サービスを実現する安全性確保技術の開発と実証
研究リーダー	名古屋大学未来社会創造機構 特任准教授 金森 亮
構成	(株)エクセイド、MS&ADインターリスク総研(株)、(株)ポットスチル、愛知工業大学
概要	市街地での地区内自動運転サービスの実現に向けて、実証実験で蓄積された走行データ分析と現地リスク評価を行い、標準的な運行設計領域の設定手順を提案する。さらに運行設計領域から外れた後、自動運転サービスを再開する際の安全性確保技術として社内ロボットの活用、遠隔監視技術、遠隔運転技術を開発し、適用状況の整理と利用者評価を行う。

## 2 新あいち創造研究開発補助金等による支援

愛知県では、次世代自動車、航空宇宙、環境・新エネルギーなど、今後の成長が見込まれる分野において、企業等が行う研究開発・実証実験を支援するため、「新あいち創造研究開発補助金」を2012年度に創設。

<2024年度採択事業(自動車安全技術関連)>

企業名	所在地 (実施地)	事業の名称
先進モビリティ(株)	常滑市	高速走行用自動運転バスの実証実験
トヨタテクニカルディベロップメント(株)	豊田市	歩車混在空間のシミュレーションのための基盤技術の研究開発